

お世話になっている会社も関与されて、中野の住まいから中野駅への道すがらの都営住宅が取り壊され、高層マンションと高層のビジネスビルが建つそうです。地上はパワーショベルの工事中や工事仕切りで騒々しい感じなのですが、東京では珍しい広々とした空が広がっています。建物にはさまれた いじましい空しか見ていない 毎日に少し気が晴れて、智恵子抄（あどけない話）思い出しています。唯、感動した空の広さを、スマホの写真で写せていません。



あどけない話

高村 光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ、  
ほんとの空が見たいといふ。  
私は驚いて空を見る。  
桜若葉の間に在るのは、  
切っても切れない  
むかしなじみのきれいな空だ。  
どんよりけむる地平のぼかしは  
うすもも色の朝のしめりだ。

智恵子は遠くを見ながら言ふ。  
阿多多羅山の山の上に  
毎日出てゐる青い空が  
智恵子のほんとの空だといふ。  
あどけない空の話である。